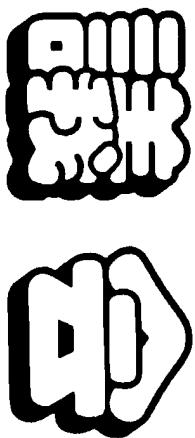


ひふか



です、こんばんは。

2010/6 第73号

樹液サミット・レセプション
《COM100》

第15回 美深白樺樹液春まつり



第4回 国際樹液サミット・2010

2010
国際樹液サミット



平成22年度の予算査定

町長の考え方を聞く 一般質問 / 議員登壇

防災対策 光ファイバー設置 第2回臨時会

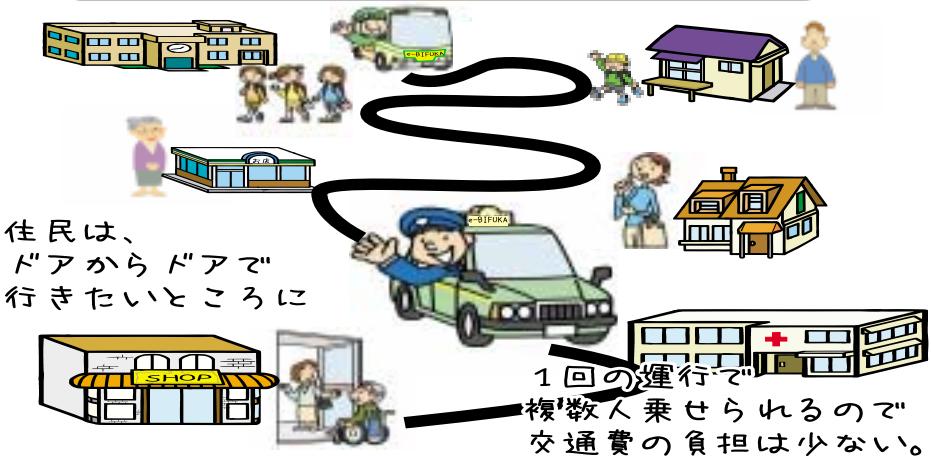
議会の動き

4P
8P
16P
18P

平成22年第1回定例会

「中心市街地・郊外地を網羅」 コミュニティバス今年秋から実証運行

デマンド交通システム



条例制定

平成22年第1回定例会は、3月8日から19日までの日程で開会され、22年度各会計予算平成21年度各会計補正予算、条例制定及び一部改正、意見書など議案30件の内、議員発議1件、委員会発委1件、意見書1件、承認1件が審議されいずれも原案可決した。

は該当しないのか。
商工観光建築グループ
主幹 商工会の会員になることであれば、可能と考えられる。

条例の一部改正

▽ 美深町快適住まいづくりと、商工業振興補助金条例
内容 定住の促進並びに商工業活動の推進地質問 町外からの転入者も対象として想定しているが、税等滞納の確認等は。
商工観光建築グループ
主幹 町外から来られる方の確認については、現在住んでいるところでの確認とする。
質問 商工業補助金は会員外で店舗の改築等

質問 他の条例で所得制限があり、不公平感が見られるが問題はないか。
総務課長 基本的にインターネット、同時にパンフレット等で寄付を募っている。



補正予算

住民生活課長 他の条例については所得制限を設けていると思ってるが、整合性を図りながら今後検討。
▽ 議会提案
美深町議会議員の定数条例の一部改正については、賛成多数により、原案可決された。

住民生活課長 高齢者世帯には周知徹底したが、結果的に現状となつた、国の交付基金事業措置のため、今回限りとなる。

住民生活課長 高齢者の世帯、火災報知機補助は、638件の予算現在の設置は270件、今年度も継続の考えは。

質問 仁宇布路線バスの補助、乗客は増、便数は減、補助も減となるというがこの要因は。
生活環境グループ主幹 21年度はさうに増となつたのが要因、便数の変更については把握していない。
質問 生活環境グループ主幹 20年度の乗客は増、92万9千円を減額。主に事業費の確定。
質問 まちづくり応援基金の応募ピーアール

第1回 臨時会

国からの地域活性化・きめ細かな臨時交付金等を受け一般会計で1億6,587万3千円が追加決定された。

質問 委託の議論はどう程度しているのか。

答 第1回臨時会は平成22年2月24日開催され、国の第2次補正予算により地域活性化の臨時交付金の決定に伴い事業の追加と緊急を要す経費の追加を補正した。1億6,587万3千円を追加し歳入歳出の総額は67億114万9千円となつた。

質問 市街地に184基の街灯が設置されたが、現地の点検、設置場所など住民の要求を聞き配慮されたか。

答 施設グループ主幹 降雪量の基準は過去10年特に防虫と明るさ等の家もなく見直しが必要では。

質問 生活環境グループ主幹 街灯の工事について

質問 降雪量が多いというがその基準等の数値は。

答 施設グループ主幹 今年の降雪、積雪に対しでは、目一杯の対応で行き届いた除雪となるのが難しいものがあるが理解いただきたい。



明るさ増した街路灯

関係で町内会などに説明、苦情等の指摘なし、取付け位置・角度は相談し慎重に進めた。

の平均値を基準とし大幅に増加した。2月8日現在の美深町の降雪量は7メートル、今後平年値の平均から約180センチの見込みで、冬期間8メートル80センチの予想である。

質問 北児童館の設置場所が単独で運動性がないところに疑問がある。

答 小学校の教育施設、幼稚センター施設の近くなら併用でき、職員の無駄も省けるのではないか。

質問 この場所は、もともと児童館施設としての寄付採納された所、新たに371万円の用地取得とあるが考えを伺う。

答 教育次長 現在進めている子ども児童クラブ、子ども教室は、今の北児童館の位置で、通学路の関連もあり、各事業と児童センター等の職員体制は、今後新たな施設で、今年度中に協議していく。



補正の主な事業

- ・補正の主な事業
- （公共施設他）
- ・北児童館用地取得費、実施設計費、改築費用
- ・橋梁の補修他
- ・森林の路網等整備
- ・街灯等改修工事
- ・林業保養センター 設備改修
- ・地域集会施設改修
- ・農業用排水路整備
- 184灯

予算は? くらしに重点を

平成22年度
予算審査



中野委員長

企画グループ主幹 国
から250万円補助を
受け総額500万円で、
市街地循環バス及び仁
宇布線のデマンド方式

質問 地域公共交通活
性化協議会負担金25
0万円の内容について。

総務費

平成22年度の美深町
一般会計並びに7特別
会計予算は、議長を除
く全議員で構成する予
算特別委員会（中野勇
治委員長）を設置して、
3月16日・17日・18日
の3日間審査を行った。
審査結果は、全会計
いずれも全員一致で
「原案可決すべきもの」
と決し本会議に報告さ
れた。

の実証を行い利用者の
利便調査等を行いたい。

質問 駅売店改良工事
で2年の間に2回も工
事を行うことは、長期
的ビジョンを持つてい
なかつたのではないか。

企画グループ主幹 国
から250万円補助を
受け総額500万円で、
市街地循環バス及び仁
宇布線のデマンド方式

質問 地域公共交通活
性化協議会負担金25
0万円の内訳について。
企画グループ主幹 運
営費の補助の他に、交
流を目的とした訪問と
車両購入にあたっての
補助を行い支援してい
きたい。

質問 富士重工美深会
の補助金の内訳につい
て。
企画グループ主幹 運
営費の補助の他に、交
流を目的とした訪問と
車両購入にあたっての
補助を行い支援してい
きたい。

企画グループ主幹 参
加者の宿泊等の経済効
果はあると思うが、開
催の目的は限界集落と
いわれる地域の活性化
を図るための相互に研
究とか議論を交わすこと
が、大きな目的である
と考えている。

質問 民生費



副町長 観光協会が指
定管理者になっている
交通ターミナルは、母
子会が売店の営業を取
りやめるとの申し出に
より、観光協会に効率
的に運営して頂くため
に今回の模様替えになっ
た。

質問 美深育成園園舎
改築事業補助金は、設
計委託料に対する補助
と説明があるが、ど
れくらいの金額を把握
して補助金を出そうと
しているのか。

住民生活課長 期成会
から設計委託料1,0
10万円申請手数料等々
150万円その他建設
マネージメント業務委
託料615万円、技術
者的人件費535万円、
計2,310万円の要
望があった。

質問 有害駆除の関係
で駆除をした鹿、熊に
対して一頭どれくらい
の助成しているのか。
住民生活課長 熊につ
いては一頭当たり3万
円、鹿については7千
円を、昨年と違うのは
駆除期間以外でも雌鹿
に対しては7千円助成
している。

衛生費





山口町長

あたたかい 里づくり 農業・観光

質問 厚生病院の運営支援補助金はどこまで支援するのか。

厚生病院の赤字負担の関係であるが、それとの自治体病院に準ずる病院ということで、厚生連と赤字負担の10割を持つ約束ごとになっている。

当分の間それを履行していかなければならないと思っている。

商工費



美深アイランド野外ステージ

質問 厚生病院の運営支援補助金はどこまで支援するのか。

厚生病院の赤字負担の関係であるが、それとの自治体病院に準ずる病院ということで、厚生連と赤字負担の10割を持つ約束ごとになっている。

当分の間それを履行していかなければならないと思っている。

質問 アイランドの野外ステージ等の利用状況は。

商工観光建築グループ主幹 松山湿原のイベントは従来どうり観光協会が、松山湿原を含めた観光資源の維持管理は22年度からトロッコ王国の方々に担つていただることを考えている。

質問 鳥獣侵入防止柵整備事業を町単独で行つた後で、道の補助が来た場合は別々事業にするのか。

町長 道の補助がこの事業を行つて受けられるのであれば、後受けの財源補てんとして町で受ける。

農林産業費



鹿 進入禁止

質問 へい獸処理場を設置しているが今後必要なのか。

町長 農業・畜産関係等の意見を踏まえながら苦慮しながら維持しているのが実態。

質問 ハウス整備支援の事業主体を本年度からJA北はるかから農業者に変えた理由は。

施設グループ主幹 捨て場の確保については、町の方針として一年でも早く決めたく努力している。

質問 駅東雪捨て場の今後の在り方にについて伺う。



質問 駅東雪捨て場の今後の在り方にについて伺う。

土木費

質問 東二号道路は、名寄バイパスの開通で交通量が増えて危険な場所であるがその安全対策は。

消防費



設置された防火水槽

町長 交差点の信号機の設置は、警察へは要望しているが全道的に優先順位がありなかなか難しいとの事、しかし深刻な事も発生したので色々な対策を積極的に行う。

質問 昨年より西団地の改修工事が行われているが、工事に入る前に入居者と話し合いが行われたのか。

質問 美深消防に要する経費が昨年に比べて減額になつたのは。

商工観光建築グループ主幹 公営住宅の改修工事に入る前に文章を皆様にお配りして、いつも頃から工事かかるというお知らせをして、ささらに工事発注時には担当の者が伺つて話し合いをしている。

質問 幼児センターでの子供たちの運動能力向上の取り組みは。

教育費

幼児センター所長 幼児の運動能力については現在、5領域ということです。それ教育課程に基づいて指導計画をつくり進めている。

質問 特別支援教育の内容等は何か具体的に昨年度の状況は。

教育グループ主幹 2名が配置され、普通学級に在籍する低学年にについて支援を、もう1名は昨年国外から転入された方の専属支援を行つてある。



励む子どもたち

後期高齢者医療保険特別会計

質問 特別徴収と普通徴収の違いは。

生活環境グループ副幹 特別徴収というのが年金からの徴収で、普通徴収は納付書で納めていただくな。

介護保険特別会計

質問 組合から春闘に絡み要求事項が出ていくと思うが、町としての対応は。

町長 総務課長、副町長との交渉を経て私の交渉になるが、大きな課題はなかった。

保健福祉グループ主査 包括支援センターとして取り組んでいる認知症高齢者の見守り事業。

質問 公共下水道事業計画認可変更委託料とあるが計画変更の内容は。

施設グループ参事 事業内容については、人口区域の見直し、各施設の容量の見直し、下水道事業の再評価、放流水水質検査基準計画と中間ビジョン作成。

下水道事業特別会計

こんなこと調査しました。

委員会レポート

総務住民常任委員会

2月1日

美深育成園の現状と課題

美深育成園は、「美深国の子寮」として昭和23年松浦カツ夫人により設立され、道内の児童福祉として先駆的な役割を果たしてきたが、施設の老朽化が進み子どもたちの日常生活や待遇計画に支障を生じる状況となつた。子どもたちの安全性を確保し、年長児童等のプライバシーを尊重できる快適な居住空間を備えるため全面的に改築する。



改築予定の美深育成園

産業教育常任委員会

2月2日

工事契約事務の流れ

設計について
直當で設計する場合は事業担当課と設計担当課の綿密な協議連携により設計から積算までの行程で執行する。

予定価格について

当該工事入札の指名を通知する際に同時公表する。

近年、予定価格の事前公表に疑問視する声がある。

タレント発掘事業の状況
子どもたちの体力は全国平均を下回っていることから、小中学生においてキッズ指導者プログラム研修を通じ、総合型スポーツクラブと連携して体力づくりにあたっている。

タレント発掘、育成
支援プロジェクトは国立スポーツ科学センター評価は国内では上位である。

教育関係施設の現状と課題について
美深小学校の完成状況
平成21、22年で実施しすべて完了。教育、環境的にも良い校舎に整備された。建築費8億2,530万元



小規模土地改良事業の実績
土づくりの意識付けて効果があり、土づくりを通して農業者がエコファーマーに取り組まれていることは評価でき、大変望ましい。

一般質問席

7人の議員が施策を問う

今泉 常夫
南 諸岡
野 菅英治
小口 政彦
倉林 寿一

議員
議員
議員
議員
議員

意見書を提出しました

農業農村整備事業の 予算確保に関する意見書

昨年、本道農業は令
湿度に見舞われ、収量
の減少や品質低下など
大きな被害を被った。
しかし、土地改良事
業により農業生産基盤
整備をした圃場など被
害が少なく、その効果
が顕著に表れた年だっ
た。

国は平成22年度農業
関係の予算編成におい
て、戸別所得補償制度
のモデル対策費に重点
配分する一方で、農業
農村整備事業費（土地
改良事業費）を大幅に

くことは明らかである。
このことは、我が國
の食糧自給率をさらに
低下させるなど、国民
全体の不利益にもつな
がるものと危惧する。

その縮減は、生産者
や地域が要望する排水
対策や土壤改良、区画
整備等の農地整備農業
用水を安定的に確保す
るための農業水利施設
の計画的な更新、整備
に深刻な影響を与える
こととなり、本道の農

業の生産性の低下を招
くことは明らかである。
このことは、我が國
の食糧自給率をさらに
低下させるなど、国民
全体の不利益にもつな
がるものと危惧する。

削減した。

本道農業、農村が持
続的に発展し、安全・
安心な食糧を国民に安
定的に供給する役割を
担っていくためには、
食料供給力の確保に必
要な農地や農業水利施
設の整備を計画的かつ
継続的に実施すること
が不可欠である。

本道農業、農村が持
続的に発展し、安全・
安心な食糧を国民に安
定的に供給する役割を
担っていくためには、
食料供給力の確保に必
要な農地や農業水利施
設の整備を計画的かつ
継続的に実施すること
が不可欠である。

②食糧自給率200%

の北海道農業が今後
も国民に安心な食を
提供できるよう担い
手の育成、優良農地
の確保、整備を強力
に推進すること。

提出者 南 和博 議員

賛成者 菅野勝義 議員

越智清一 議員

林寿一 議員

庵宗訓 議員

提出先 衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

農林水産大臣

国土交通大臣

①国民の命の根源であ
る食の安定供給を図
るため農業農村整備
事業の着実かつ計
画的な推進に必要な予
算を確保すること。

③農業の持続的発展は
農業者だけでなく國
民の命と暮らしを守
る上で極めて重要で
あり、必要な措置を
強力に推進していく
こと。

農業農村整備事業
の着実かつ計画的
な推進に必要な予
算を確保すること。

一般質問



1 町政執行方針について

今泉 常夫 議員

町長 高齢者福祉環境の面では、老朽化してきた施設や不足している施設など出てきているので、これらの整備を第1次総合計画の中に入り組んでいきたいが、出来るものは前倒しの取り組みも考えたい。

質問 高齢化が進む中でこれらの地域づくりには、高齢者が健康で地域の中で自らの体験と知識を生かして積極的に役割を果たしていくことも大変重要な要素であると思う。

同時に、高齢者福祉施設整備の必要性が求められているが、その対応をどのように考へているか。



集まりを楽しみにしている高齢者

問 高齢者福祉施設の充実を

答 施設の環境整備に取り組む

町長 高齢者福祉施設は早急に取り組みたい。老人憩いの家が老朽化しており、改築するか民間等で利用いただき等相談しながら別の方向に転用を考えている。

民間経営の公衆浴場も老朽化し、現在町費補助をしながら維持して頂いているが、今後の方向性を考えなければならない。

また、町内会からの自治会館陳情等を踏まえ、これらをどう順番的に組み入れるかを第5次総合計画の中で考

えたが、公共投資・設備投資を思い切って年度割れすることを基本的に考えている。

質問 高齢者生活福祉センターを平成16年に建設予定の計画が見送られているが、アンケート調査によると独り暮らしの不安・地域の高齢者仲間と集まる施設がほしい等のニーズを踏まえ、早急に取り組む必要があるのではないか。

町長 独居老人は年々増える状況にあるが、緊急通報装置は十分機能しており、光ファイバーの活用は別扱いにされ今後の課題である。

問 緊急通報システムの活用を

答 光ファイバー機能は別



緊急通報受入完備の美深消防署

質問 独り暮らし高齢者の不安解消のため、緊急通報装置の利用推進を図るべきでないか。

また、本年全町に整備される光ファイバーネットワークを通報システムに活用できないか。

町長 独居老人は年々増える状況にあるが、緊急通報装置は十分機能しており、光ファイバーの活用は別扱いにされ今後の課題である。



南 和 博 議員

- 1 まちづくり応援基金の位置づけと施策設計への活用について
2 移住推進事業の将来ビジョンについて

問 まちづくり応援基金の活用法は

答 色々な企画を検討

質問 わが町のふるさと納税制度への取り組みは、平成20年度より「まちづくり応援基金」としてスタートし、これまでに約380万円の净財が寄せられている。

この净財を7つの事業に充当しているが、もっと集約・集中して施策に反映することも必要ではないのか。さらにはPRの方法を研究するべきではないのか。

町長 2年を経過一定の評価実績を見直す時期に来ており事業に追加するもの、整理するものを精査していく。
質問 人材育成に投資してもらうような仕掛けができないか。人を育てることに価

値観を持つ人が増えていること聞く。

そのことから、美深町自体に関心をもち、来町してもらうことで観光化され、町民と交流し美深を気に入っているだければ定住移住の可能性もある。

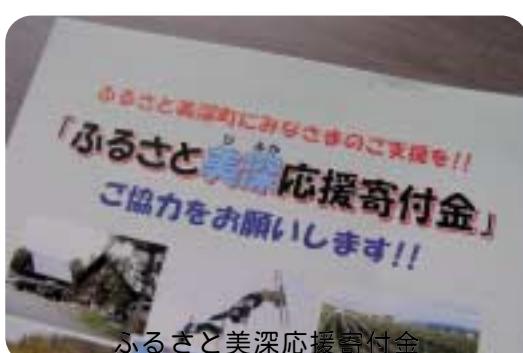
そんな物語ができる

ような仕掛けがあつても良いのではないか。

町長 理想としては理解するが、まずは美深町を宣伝する媒体として活用したい。
寄付者の多くは美出身者が、ホームペジを見て寄付している方もおり、農山村を応援したい方が増えていることは事実。

色々な企画を職員共々

に検討したい。



問 移住推進事業の方向性は
答 一步進むという段階

町長 具体的構想は今のところない。構想を作り上げるスタートの段階、第5次総合計画に向けて今までの考えより一步進むと言うのが今的基本姿勢。

「きたいつしょ事業」

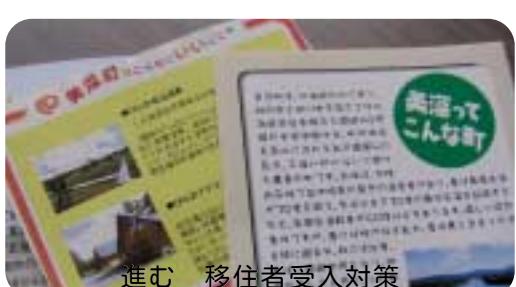
質問 移住推進は全国的に進められており、わが町においても新年度予算に盛り込まれた

が、移住者向け住宅整備や提供する土地、農村暮らしなのか、街中居住なのか、現役世代一ゲットにするのか、それらの方向性があるのか、この新規事業の目的と将来ビジョンは。

また、これまで3町で「きたいつしょ推進協議会」において移住事業を開拓してきたがそのこととの整合性に問題はない。

質問 移住推進は全国的に進められており、わが町においても新年度予算に盛り込まれたが、移住者向け住宅整備や提供する土地、農村暮らしなのか、街中居住なのか、現役世代一ゲットにするのか、それらの方向性があるのか、この新規事業の目的と将来ビジョンは。

また、これまで3町で「きたいつしょ推進協議会」において移住事業を開拓してきたがそのこととの整合性に問題はない。





諸岡 勇 議員

- 1 農業振興策と農業後継者対策について
2 商工振興について

質問 昨年定額5,000万円の補助した南瓜低温貯蔵施設を造る趣旨、利用状況、今後の対応を伺う、また、ハウス野菜の予算で昨年は執行予算が使われず今年はより多くの予算化の背景は何か。

ハウス関連資材の今 日高騰の中ハウス農家の苦情が聞かれる、行政の評価と今後の方向性を伺う。

自然農法、有機農業推進で22年度の具体的な推進策を伺う。

畜産農業の家畜ふん尿処理施設整備外の流出防止対策及び指導はどうするのか伺う。

町長 南瓜生産で作付面積21年度500ヘクタール103戸で、和寒・名寄に次いで全国第三生産地で低温施設は、南瓜品質の評価の高い一大産地ブランド化で関東方面に出荷する貯蔵施設、10月着工し2月完成竣工式と農協から聞いている。22年度からの利用で8月末から北はるか4町村の貯蔵品が集荷される。

「幸せつかませ隊」の構成経過、活動状況、広域での対応は。

「幸せつかませ隊」の構成経過、活動状況、広域での対応は。

答 10名に委嘱し情報交換

ハウス野菜は農家の所得向上に資する20%5分の1支援する制度で18~21年度実績763万7千円支援した。天候不順に影響を受けないハウス栽培振興事業で資材と種苗で支援したい。



南瓜の低温貯蔵施設

自然農法で意見を交わした、有機栽培で土づくり講習会、ニンニクの栽培試験、キヤべツの無農薬栽培、南瓜の減肥試験の取組経過がある。自然農法で昨年6月有機JASの研修講習、微生物応用技術研究所主催など現地検討会参加など今後も有機栽培などに努力する。

家畜ふん尿関係で平成11年家畜排泄法が整備され、畜産農家自らの責任で家畜ふん尿の適正管理と利用が求められ我町は10~17年まで整備を終わらせた。

対象外数件は特待事業などで整備したい、河川への流出は、家畜排泄物管理適正化指導チームで対応する。縁結びプランナーは10名に委嘱し勉強・情報交換の段階。



自然農法の地ごしらえ



菅野 勝義 議員

- 1 高齢者・独居老人福祉施設について
2 都市環境の整備について



急がれる老人福祉施設対策

質問 現在公営住宅に入居している高齢者の世帯数は99世帯、うち独居老人世帯が69世帯が利用していることを踏まえ、老人福祉寮・憩いの家浴場を併設し

質問 町政執行方針の福祉の充実では、高齢者の働く機会と生きがいつくりといわれている。

一昨年、老人福祉の長生寮は障害者福祉住宅とし、民間委譲に伴い高齢者、独居老人向けの介助付き福祉寮・老人憩いの家も老朽化が目立つが、老人福祉施設の対策を伺う。

質問 現在公営住宅の整備等と合わせ老人憩いの家等も早い段階に整理していきたい。

町長 高齢者福祉住宅の整備については、現在在庁舎内で子育て支援、高齢者対策基本計画プロジェクト会議を立ち上げ、年度内に整理する。

また、美深町老人憩いの家については、開設から36年が経過、維持管理も困難を極めると思う。

答 プランを立て整理・整備

食事もでき、子ども達とのふれあいが出来る介助付、施設の整備が必要、町長の考えを伺う。

町長 長生寮・老人憩いの家浴場を兼ねた施設が具体的に良いのかプランを立て、実態を踏まえながら老人向け住宅の配置をしていかねばならないと思う。次期の計画に盛り込み、具体的に取り組むか十分吟味し、相談をしていきたい。

問 公共交通の運行形態は

答 市街地を中心とした交通体系の整備

質問 公共交通の整備については、住民の足の確保対策を踏まえ何年も前からの課題で、協力を賜り協議会において方向性を確認し、国からの支援を受け、3年間の実証運行をす

町長 公共交通の整備については、住民の足の確保対策を踏まえ何年も前からの課題で、協力を賜り協議会において方向性を確認し、国からの支援を受け、3年間の実証運行をす

質問 公共交通の運行形態は2通りが示されているが運行方式、また実証運行の時期は。

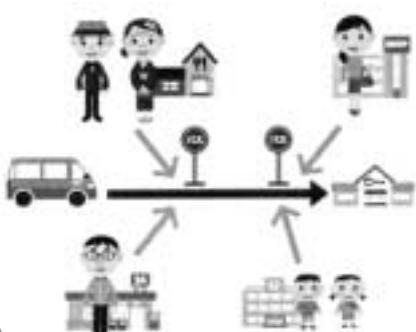
町長 運行の形はいろいろあるが、ひとつにはコミュニケーションバス方式、公共施設・病院・金融機関・商店・住宅間を提示路線、また、ポイントごとのフレット式の考え方を持つていて、実証時期について秋ごろと思う。

質問 町政執行方針に公共交通機関の維持と確保が求められていることから、市街地を循環するコミュニケーションバスの移送が、地域公共交通活性化協議会で協議され今年より実証運行に着手されるが、運行の形態協議等での課題について伺う。

質問 公共交通の運行形態は2通りが示されているが運行方式、また実証運行の時期は。

路線バス型交通

・1回の運行で複数人を乗せて運行するので、利用者の費用負担は小さい。



住民サービスイメージ

一般質問



小口 英治 議員

- 1 人材育成について
- 2 職員提案制度の課題について

質問 人材に関し農協
商工会等も人事交流を
実施しているが、当町
に於いても職員の視野
を広げる能力向上の意
味でも広域での人事交
流が必要では。

町長 14年まで実施の
経過があるが農協・商
工会・役場職員等も一
緒に参加し共通の話題
づくり、人的交流など
を期待しながらこの事
業を開拓したい。



スポーツ指導中

質問 人材育成について
修事業が数年ぶりに復
活したが従前 の方法で
は充分な効果が期待出
来ない、提言の受け皿
は、その後の検証、公
開等のように町づく
りに結び付けるのか伺
う。

質問 町づくり育成研
修事業が数年ぶりに復
活したが従前 の方法で
は充分な効果が期待出
来ない、提言の受け皿
は、その後の検証、公
開等のように町づく
りに結び付けるのか伺
う。

問 人材育成にどう取り組む

答 人的交流に期待

町長 過去に道府・支
府・開発局等に町職員
を派遣した経過はある
が行革の中、出すだけ
の人材の余力はない。
道から観光、さらに
教育委員会で職員を受
入れ刺激を受けて我町
の人材育成に貢献出来
るものと考えるが長期
計画で職員の交流研鑽
に努めたい。

質問 人材育成について
修事業が数年ぶりに復
活したが従前 の方法で
は充分な効果が期待出
来ない、提言の受け皿
は、その後の検証、公
開等のように町づく
りに結び付けるのか伺
う。

質問 職員の各種資格
取得等に支援策がない
か、またスポーツ指導
等に積極的に尽力され
ている職員に対して勤
務評価による特別昇給
は考えられないか。

質問 現行の職員提案
制度は他町村同様事務
処理等行革に関するの
が主だが、町づくりに
関しての提案はあるか。
提案の公開については、

問 まちづくりの職員提案は

答 事務改善の提案が中心



職員間の意見交換会

質問 現行の職員提案
制度は他町村同様事務
処理等行革に関するの
が主だが、町づくりに
関しての提案はあるか。
提案の公開については、
まちづくりに関して
の提案は期待はしてい
るが、そこまで行き着
いていないのが実態。
案件があれば公開し
て進めていく。

質問 現行の職員提案
制度は他町村同様事務
処理等行革に関するの
が主だが、町づくりに
関しての提案はあるか。
提案の公開については、
まちづくりに関して
の提案は期待はしてい
るが、そこまで行き着
いていないのが実態。
案件があれば公開し
て進めていく。



倉兼 政彦 議員

1 平成22年度町政執行方針とその対応について

質問 地域情報通信基盤整備事業（光ファイバー網整備事業）について、既に町民に対する説明会等も開かれ周知されている状況にあるが、15億円近い投資からすると現状の取り組みだけでは費用対効果は低いと感じる。

多大な可能性を持っているこの事業、政務調査等での内容からして自主放送や福祉対策の充実にも可能であり、

問 利用拡大の検討は**答 提案を受け研究も進めたい**

人口増加対策の一方策にも繋げる事が出来る。更なる利用拡大に向けた取り組みを進めるべきでは。

町長 この事業は、今実施しなければ将来に禍根を残すとの思いから積極的に取り進めているが、財政的には1割程度の持ち出しだが厳しさもある。

提案も受けて整理しながら、研究も進めた

私費持出しの課題もあり、多くの情報を送る事によって受け手が対応し切れない逆効果の恐れもあり、十分考慮しながら考えたい。

以前政務調査で出向いた町では、住民課にその拠点を置き総合的に対応して成果を挙げている状況があり、参考になる取り組みを再考しては。

垣根をつくらず広範



整備される光ファイバー事業

町長 非常に難しい問題であり、大きな課題と認識している。しかし行政が先走りするのはいかがとも思う。ぜひ声を出してほしい。

問 総合的な配偶者対策は**答 広範囲に柔軟に考えたい**

総務課長 今回の大きな目的の中に防災の部分があり、テレビの難視聴地区解消対策は国の交付金の対象となる部分についての取組みで、一般家庭でも変換機を購入設置する事で利用できる。

町長 担い手の配偶者対策は独身農業者を対象に進められているが、町内全体を対象に進めてほしいとする意見がある。

以前政務調査で出向いた町では、住民課に



農業体験交流事業

一般質問



1 どこまで望むか観光による町興し

林 寿一 議員

町長 観光という部分で国・道の政策が変わってきたことを認識し、わが町は自然を中心とする恵まれた地にあり、点から点の観光的なものをつなげてづくりに務めていく。トロッコ王国は

こしは今までも言われてきたが、22年度町政執行方針において、これまでと違った新たな視点と発想を持った積極的なアプローチである。



トロッコで笑顔を

問 観光に新たな発想、

仁宇布地区観光マネージメントとは

答 観光協会の枠の中で

質問 観光による町おこしは今までも言われてきましたが、22年度町政執行方針において、これまでと違った新たな視点と発想を持った積極的なアプローチである。

また、仁宇布地域の観光推進をトロッコ王国に委ねる観光マネジメント組織としての新たな取り組み支援があるがその意を伺う。

NPO法人で仁宇布地区に点在する観光、トンボ、羊に関する波及効果等を考え、観光協会という枠の中でのマネージメントと思っている。

答 観光協会の枠の中で

質問 美深アイランドと併用施設、びふか温泉、函岳ウォーキングツアー等の取り組みは、チョウザメが例年の3倍の飼育となつたが、それらの対応、チョウザメのブランド化とは。

10万人を超えての入り込みがある。チョウザメ料理等についても一定数が揃いつつあるので「食」についても努力している。

問 行政から見た観光とは

答 広域観光をめざす

質問 人材面での国の緊急雇用事業、ふるさと再生特別推進事業等の取り組み等、行政面から進める観光とは。

また、観光案内宣伝と売店等に関わる人材の雇用について。

町長 道の好意という部分もあるが、広域的な美深を拠点として中川、音威子府の観光という立場で臨んでもらいたい。端的に言えば最終的な雇用は観光協会ということになる。

観光行政の中で一体的に進め観光協会と協議連携と思っている。わが町をPRする事に心優しく町を宣伝してくれる売店の人材をと考えている。

問 美深アイランド・函岳「チョウザメブランド化」の取組は

答 食に努力

町長 残念ながら今の経済情勢では観光企画等の入り込みは道内的、管内的にもかなり減少しているのではないか。しかし、過去20年間で「道の駅」は30万人、



お客様を迎えるアイランド

第2回 臨時会

防災緊急情報光ファイバーで 町民の防災対策

ないが、更新には1台758万円、2千戸分では1億数千万円かかる見込みで計画的な施策としているが、実際は4年となっており、耐用年数4年となつて758年は使用可能。

機器の保証は1年で、耐用年数4年となつて758年は使用可能。

質問 携帯電話しか持っていない家庭への対応は。

難聴地区以外の個人がテレビ交換機を希望するときは、自由に設置できるのか。

発信センター施設は何処に設置するのか。

第2回臨時会は平成22年4月26日開催され、美深町まちづくり応援寄付3件の相当分を積立金として補正、町地域情報通信基盤整備工事「光ファイバーの整備」契約14億3,850万円などの他損害賠償額の決定について承認1件、議案2件を可決した。

総務課長 整備入札公募時に受注の条件として地元発注を提案している。

美深町税条例の 一部改正する条例

平成22年度の税制改正に伴う、地方税法等の一部を改正する法律を受けて美深町税条例を改正する。

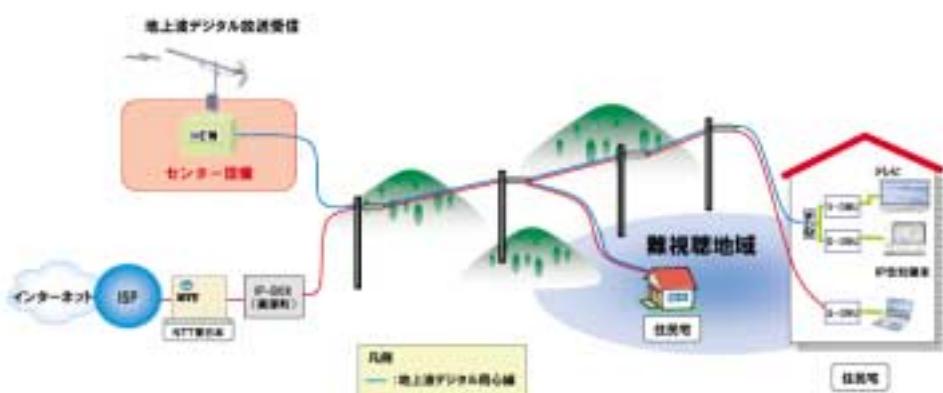
個人町民税、特別土地保有税、たばこ税などが原案可決された。

施設設置・整備機器、配電盤などの基礎、舗装など経済効果のほか広域で機器類のレンタルがある。

看板、宿泊、食事に至る効果を期待する。端末機の所有は町で、原因が本人不注意の場合は協議することとする。

更新時のための基金などの協議は行っていない。

防災網イメージ図



総務課長 防災が目的で各戸の承諾が必要であり強制は避けたい。

総務グループ主幹 この事業は難聴地区109世帯が対象なのでそれ以外は考えていない。設置場所は役場1階休憩室。

質問 設置時の資料、説明資料は解り易いものを用意し、設置場所は個人のほか、コミニセン、自治会館、事業所など日中多数の人が集まるところの2、500箇所くらいになる。



各戸に設置の端末機

議会改革特別委員会

議員定数13名を11名に2名減

次期一般選挙から適用

議会改革特別委員会は、これまで町民懇談会を開催し、現行の議員定数13名を2名減の11名にする議員定数条例の一部改正を特別委員会発委で平成22年第1回定例町議会に提案し賛成多数で可決され、次期一般選挙から適用されることになる。

議員名	交付額	使用額	返納額
林寿一	156,000	17,715	138,285
村山勲	156,000	53,749	102,251
南和博	156,000	176,808	0
小口英治	156,000	218,996	0
今泉常夫	156,000	166,262	0
中野勇治	156,000	107,469	48,531
庵宗訓	156,000	51,002	104,998
菅野勝義	156,000	165,589	0
諸岡勇	156,000	114,826	41,174
斎藤和信	156,000	181,687	0
倉兼政彦	156,000	212,553	0
越智清一	156,000	168,818	0
藤守千代子	156,000	62,983	93,017

美深町議会議員は、活動調査研究に資するため、政務調査費として月額1万3千円の交付を受けている。

収支は、年度終了の日から起算し30日以内に全ての領収書を付けて報告する。

※ 交付額を超える額は自己負担

支出項目詳細の原案がまとめられつつある。

更に、議決事件の追

加・町民参加（意見交

換会等）・傍聴者への

資料提供などが今後協

議されることになる。

また、議会運営事項

について町民との約束

事項として、別途議会

基本条例制定の方向性

を検討する事が想定さ

れるが、これらの課題

を含めた改革の調査を

本年度中にまとめるこ

とにしている。

議員投稿



越智議員

「限界集落と水源の里」

近年「限界集落」という言葉が話題になっている。「限界集落」とは、65歳以上の高齢者が人口の50%以上を占める集落の自律機能が低下し、将来集落の存続が危ぶまれる過疎農山村の集

落のことである。

地域に住む人たちに

とっては、「限界」と

決めつけられることは

大変不愉快であり、決

めつける前にその原因

が過疎化や高齢化が進

み、地域に若い人が残

れず、都市に移らなけ

ればならないという本

質にあることを思い起

こしてほしい。

現在、わが町の高齢

化率は40%未満である

が、今後農村部の地域

においては世帯構成や

若い人の動向によって

は、地域の維持に関心

を持たなければと思う。

過日、議員数人で限

界集落を「水源の里」

と呼び活性化と再生に

取り組んでいる京都府

綾部市を視察した。

「水源の里」とは、

上流は下流を思い、下

流は上流に感謝する、

との理念のもと河川の

上流域の集落と位置付

けている。

そこでは、集落の存

続や活性化のために、

定住対策の促進、医療、

福祉・交通など生活サービスの確保、地域産業の再生、都市との交流促進等を振興目標に掲げ、住民主体の地域づくりを目指している。さらに水源の里連絡協議会を設置して環境問題などでいかに大事かを都市住民にも呼びかけている。

今回の視察で住民自らの前向きな活動、それを支援する行政の姿勢を教えられた、相互扶助（支え合う社会・地域・生活）が限界となる前の課題解決にもなり、他人を思うことが自分も思われるとの安心感につながるのだと思う。

本年、8月末に全国水源の里連絡協議会によるシンポジウムが美深町を中心に開催されるが、「限界集落」などの言葉が死語になるような全国の集まりになるよう期待している。

議会活動日誌

《12月》

17日【議員控室】第8回議会改革特別委員会

《1月》

- 5日【COM100】平成22年新年交礼会 … [写真①](#)
【COM100】美深消防団出初式
10日【COM100】平成22年成人式 … [写真②](#)
12日【委員会室】議会改革特別委員会部会
16日【札幌市】札幌美深会 新年の集い
19日【議員控室】第9回議会改革特別委員会
25日【委員会室】広報編集特別委員会（～29日・2/3日）
28日【旭町ふれあいステーション】議会改革特別委員会 定数説明会
29日【恩根内・仁宇布】議会改革特別委員会 定数説明会



《2月》

- 1日【委員会室】総務住民常任委員会 所管事務調査
2日【委員会室】産業教育常任委員会 所管事務調査
16日【議員控室】全員協議会
【委員会室】議会改革特別委員会 部会
21日【運動広場】ウィンターフェスタ'10
（第24回美深ふるさと冬まつり）… [写真③](#)
22日【札幌市】議会運営に関する調査研究
23日【委員会室】議会運営委員会
24日【議員控室】第10回議会改革特別委員会
【議場】第1回臨時会
【議員控室】全員協議会
26日【美深小学校】美深小学校 落成式 … [写真④](#)

《3月》

- 4日【委員会室】議会運営委員会
6日【COM100他】一般国道40号名寄バイパス
（恵文IC～美深IC）開通式 … [写真⑤](#)
8日【議場】第1回定例会（～19日）
16日【議場】平成22年度予算特別委員会（～18日）



議会編集委員会
委員長 副委員長 委員
斎藤和信 越智清一 菅野勝義 今泉常夫 村山諸岡
齊藤和信 越智清一 菅野勝義 今泉常夫 村山諸岡

3月定例会は、諸課題が山積する中で、多くの議員が活発な議論を開催し、予算では活用できるまちづくりに積極的に取り組むことになった。議会も住民・行政と一緒になってその役割を果たしたい。新しい編集員です。よろしくお願いします。

編集後記